



# 銀座の言語景観 9

日本大学文理学部国文学科  
日本語学基礎演習2

- はじめに
- フロアガイドの報告と分析
- バンプレットの報告と分析
- 免税カウンターの報告と分析
- トイレの報告と分析
- エレベーターの報告と分析
- エスカレーターの報告と分析
- 臨時的掲示時計売場の報告と分析
- 臨時的掲示電化製品売場の報告と分析
- 臨時的掲示コスメ売場の報告と分析
- 臨時的掲示伝統工芸品売場の報告と分析
- 店内放送の報告と分析
- ホームページの報告と分析



## 第6章 エレベーターの報告と分析

### 6.5.動線標示の対応言語とピクトグラムの有無（竹内皓紀）

表3.動線標示の対応言語とピクトグラムの有無

ID	施設名	日	英	中 (簡)	中 (繁)	韓	使用 言語数 (横計)	ピクト グラム	備考
1	EXITMELSA								なし
2	GINZA SIX	1	1	0	0	0	2	あり	
3	NISHIGINZA (西銀座)								なし
4	ギンザ・グラッセ								なし
5	銀座三越	1	1	0	0	0	2	あり	
6	バーニーズニューヨーク銀座店								なし
7	阪急メンズ東京								なし
8	松屋	1	1	0	0	0	2	あり	
9	マロニエゲート銀座1								なし
10	マロニエゲート銀座2&3	1	1	0	0	0	2	あり	
11	メルサ銀座二丁目店								なし
12	ルミネ有楽町店	0	0	0	0	0		あり	ピクトグラムの のみ
13	和光								なし
14	銀座コア								なし
15	銀座ベルビア館								未調査
16	東急プラザ銀座	1	0	0	0	0	1	あり	
17	有楽町マルイ	1	0	0	0	0	1	あり	
18	有楽町イトシア								なし
19	有楽町マリオン								なし
各言語使用数（総計）		6	4	0	0	0		7	
平均言語使用数		1	1	0	0	0		1	

上の表3は、銀座の百貨店、複合商業施設におけるエレベーターに関する動線標示について、動線標示（正面入り口付近）自体の有無と、対応言語、ピクトグラムの有無について示したものである。表3からは以下のことが伺える。

- 1.正面入り口付近にエレベーターの動線標示がある場合の方が少ない
- 2.動線標示がある場合、ピクトグラムが採用されやすい
- 3.動線標示の対応言語は少なく、調査範囲内では日本語、英語の二言語までである

1より、今回の調査範囲の指定ミスが考えられる。例えば有楽町イトシアの報告には「2階より上には吊り下げ型案内板でピクトグラムの表示あり」とあり、今回の「正面入り口付近」の範囲外では動線標示があったことが伺える。下見の段階で動線標示の位置の特徴を押さえていれば、もう少しデータが増えたと思われる。

2より、エレベーターはピクトグラムで伝わりやすい、ということである。例えばルミネ有楽町店は言語による表記が全くなく、ピクトグラムのみで示されている。これは省スペースで表示するのに、ピクトグラムを用いることが最も効率的だと判断した、と考えられる。

そして3より、2.で示した通り、ピクトグラムが動線標示の働きをほぼ網羅するため、母国語である日本語と、国際標準語が選択され、中国語（簡体字・繁体字）韓国語が省略された、と考える。

#### 6.1.調査概要

#### 6.4.乗降エリア前の対応言語やピクトグラムの有無（仲内直靖）

